

---

## 資料2-2 熱中症環境保健マニュアルに係る ワーキング・グループにおける議論

---

1. 熱中症環境保健マニュアルの改訂について、委員から様々な意見が述べられた（熱中症環境保健マニュアルに追加すべき事項、分量、構成、読みやすさの工夫等）。
2. 引き続き改訂に向け、検討を行っていく。

## 改訂の進め方

これまでの改訂経緯、前回策定後に生じた変化、国民の方々から寄せられた意見等を踏まえて、今回の改訂では、以下の基本的な方針のとおり進めていくこととしたい。

### 基本的な方針

- ▶ 現在のマニュアルには、熱中症対策に係る有用な情報が多く含まれている。このため、基本的には、現在の記載をなるべく活かす形で改訂を進める。
- ▶ 新しいマニュアルの対象となる読み手は、現在と同様に、全ての方（一般の方々、自治体職員、教育機関職員、スポーツ活動の指導者、イベント主催者、保護者等を含むもの）を想定して作成する。

### 具体的な進め方

- ① 気候変動適応法改正関連の記載を追記する。
- ② 気象状況等の情報を更新する。
- ③ 記載の重複を見直す等、現在のマニュアル全体の分量を可能な範囲で減らす。
- ④ 専門用語や難解な用語は、注釈等でわかりやすい表現を心がける。
- ⑤ 「どのような読み手向けの内容か」分かるように、目次や章のタイトルを工夫する（例：読み手を示すマークを付ける）。

## 第1回WGで頂いた主な御意見①

### <読み手>

- ・全体向けに書きすぎるとページ数が増え、読み手の対象がずれてしまうという印象があるため、しっかり読み手を絞られた方がよい（楠本委員）
- ・当事者自身か、他者に熱中症対策を促すものか、どちらかに絞ったほうがよい（三宅委員）

### <マニュアルの全体構成>

- ・一番皆さんに読んでほしい情報というのは、あまり分量の多くないダイジェスト版のような形にしていきたい（齊藤委員）
- ・それぞれの対象者に向けて情報をパッケージにして出していくことに賛成である（横堀委員）
- ・簡潔で分かりやすい言葉で標準的な内容をまとめた短いマニュアルを作成し、その上で保健指導に関わる方々や高齢者、子ども、スポーツ指導者向けの別冊を作成することを提案する（戸田委員）

### <総論と各論の接続>

- ・ホームページ上に掲載するのであれば、一般用あるいは専門家用に矢印で導くような、ガイドをつくと分かりやすい（濱口委員）
- ・対象別の分冊を作ったうえで、リンクやQRコードのような形でその場所に飛ぶようディレクトリのような形で機能するダイジェスト版が必要ではないか（齊藤委員）

## 第1回WGで頂いた主な御意見②

### ＜読みやすさを高める工夫＞

- ・イラストやピクトグラム等の図を中心にして、文字数を抑えることで、一般に受け入れやすくなる。  
また、イラストや図表をホームページ上から切り取って使えるようになると、指導者が資料として引用しやすくなるのではないかと（堀江委員）

### ＜補足啓発資材の必要性＞

- ・小さなパンフレットやポンチ絵にまとめて掲載したり、別紙や付録にしたりするなど、何か工夫が必要である（戸田委員）

## 総論の構成（案）（改定案：8ページ）

1. はじめに
2. 熱中症の基本的な知識
  1. 熱中症は、どのようにして起こるのか
  2. 熱中症の症状
  3. 日本の夏の暑さ、熱中症の発生状況
  4. 熱中症になりやすい人
  5. 熱中症になりやすい【状況・シーン】
  6. 暑さ指数
3. 熱中症の予防
  1. 自身で行う熱中症予防
    - 【暑くなる前】に行う熱中症予防
    - 【暑い時期】に行う熱中症予防
      - (1) 暑い場所を避ける
      - (2) 体を冷やす
      - (3) こまめに水分・塩分補給を行う
  2. 地方公共団体や事業者等が行う熱中症予防の呼びかけ
4. 熱中症になった時(応急処置)
  1. あなたが熱中症になった時
  2. 周囲の人が熱中症になった時

「熱中症は多数発生している」ことや、「熱中症は予防できる」ことなどについて言及しています。

全ての「読み手」にとって必要な基本的な知識にしぼって記載しており、各論でそれぞれ具体的に記載することにしていきます。

- ・「読み手」として、“自分自身”と“地方公共団体等”で分けています。
- ・「予防を行う時期」として【暑くなる前】と【暑い時期】に分けています。
- ・【暑い時期】の予防法を(1)～(3)に分けて簡潔にしています。

熱中症になった時の応急処置も、上述の予防法の(1)～(3)と同じような内容とした上で、症状次第で「救急車を呼ぶ」ことを示しています。

# 各論の構成 (案)

例： 😊 子どもサッカークラブのコーチ  
😊 介護事業者

出典：第2回熱中症環境保健マニュアルに係るワーキング・グループ  
資料1 熱中症環境保健マニュアルの改訂について

## 各論1 熱中症の基礎知識

- 1.熱中症はどのようにして起こるのか
- 2.熱中症にはどのような症状があるのか
- 3.最近の日本の暑さの状況
- 4.熱中症はどれくらい起こっているのか
- 5.暑さ指数の活用<熱中症の予防>

## 各論2 自分自身で行う熱中症予防

- 1.暑くなる前に行う熱中症予防
- 2.暑い時期に行う熱中症予防

## 各論3 熱中症対策を促す者が行う熱中症予防

- 1.市町村等が行う予防の呼びかけ
- 😊 2.イベント主催者等が行うイベント参加者への予防の呼びかけ

## 各論4 熱中症になった時には

- 1.自身が熱中症になった時
- 2.周囲の人が熱中症になった時

## 😊 各論5 熱中症になりやすい人：高齢者の注意事項

- 1.高齢者の特徴
- 2.高齢者の熱中症対策の注意点

## 😊 各論6 熱中症になりやすい人：子どもの注意事項

- 1.子どもの特徴
- 2.子どもの熱中症対策の注意点

## 😊😊 各論7 その他の熱中症になりやすい人の注意事項

- 1.肥満の人の特徴・注意事項
- 2.持病のある人の特徴・注意事項
- 3.障がいのある人の特徴・注意事項

## 😊 各論8 運動・スポーツ活動時

- 1.運動・スポーツ活動時の特徴
- 2.運動・スポーツ活動時の対策

## 😊 各論9 夏季イベント時

- 1.夏季イベント時の特徴
- 2.夏季イベント時の対策

## 各論10 労働環境

- 1.職場における熱中症の特徴
- 2.職場における熱中症の対策

## 😊 各論11 自然災害時

- 1.自然災害時の特徴
- 2.自然災害時の対策

## 各論12 熱中症に関する政府の取組

## 第2回WGで頂いた主な御意見①

### <総論の目次構成について>

- ・ 総論と各論に分け、総論で基本的な知識と予防と対処、応急処置と分けているのはよい（戸田委員）

### <各論の目次構成について>

- ・ （現行の目次案の上にさらに）章立てすることや、目次のところで枠で囲って（各論を）分別しやすくするという方法もあるのではないか（齊藤委員）

### <総論と各論の目次構成の関係について>

- ・ （総論と各論が）どういう考え方でつながっているのか、すぐに分かるような言葉と構造にした方がよい（堀江委員）
- ・ 総論及び各論の一番最初に「熱中症とは何か」について分かりやすく記載するとよい（松本委員）

### <本文について>

- ・ できるだけメッセージは短く、簡潔に、使用されている言葉は統一的にするとよい（堀江委員、松本委員、寺川委員）
- ・ 環境改善についての記載をもう少し加えるとよい（三坂委員）

## 第2回WGで頂いた主な御意見②

### <他の啓発資材との関連について>

- ・このマニュアルを基本のマニュアルとして、ここから派生してその他のマニュアルやポスターを作成できるようにイラストを考えてほしい（楠本委員）
- ・色々なマニュアルのリンクや紹介は、総論の最後に入れるとよい（三坂委員）

### <その他>

- ・総論、各論で「日本の暑さ」と「暑さ指数」が離れた項目になっているが、合わせるか記載場所を近づけたほうがよい（岡委員）
- ・「暑さ指数」は、さらに強調して記載してはどうか（堀江委員）
- ・「暑さ指数」は、巻末の用語集等で補足するなど解説を増やしてはどうか（斎藤委員）

第2回WGで頂いた御意見を踏まえ、事務局にて改訂案を検討中です。